

清寧天皇陵古墳

宮内庁は、この古墳を清寧天皇のものであると判断した。清寧天皇 5 世紀初頭に在位した第 22 代天皇であると言われている。彼は白髪皇子とも呼ばれ、生来白髪であったと言われている。

羽曳野にある他の古墳に比べて、清寧天皇陵はどっしりとしている。古墳は高さ 2.5 メートルで面積はおよそ 1.1 ヘクタールである。前方後円墳であることとその大きさから、6 世紀終わり頃に建てられたと考えられる。周濠がめぐらされているが、土手が 2 つ築かれ、深い部分と浅い部分とに分かれている。前に築造された古墳があったため段違いの濠が作られており、予定していた設計を急ごしらえで変更する必要があったのではないかと考えられている。